

第58回 連携会議記録

日時 2014/ 11/ 14 15:00～

会場 市庁舎402号室

参加者数 17 / 24

会議の記録

協議題1 学校徴収金の取り扱いについての交流について

連携事務局より別紙1の内容について提案。

事務局提案のとおり①～④の文書を集約し冬季研において交流を行う事とする。

協議題2 学校配分予算の調整の今後について

予算要望部より別紙2の内容について提案

・「学校配分予算の調整」が実施された際には、学校側の責任も増してくることを踏まえ、予算計画や執行を行う必要がある。

・「学校配分予算の調整」により、表面的には過不足なく配分予算が執行されているように見えることになるかもしれない。従って今後は、予算要望を工夫して行っていく必要がある。予算総額は絶対的に不足していることをどう表現していくか。やはり重要なのは私費負担と公費負担の割合の現状を訴えていくことではないか。

・富良野市連携会議で行われている備品購入の二次調整（一時執行の残額を一旦集約し必要度に応じて再配分する方式）を、石狩市の配分予算でもできないか（千歳市など一部で行われているようである）

→消耗品費については現状残額が出ることは考えられず、年度末に調整作業をすることは困難。手数料等については、今回の調整配分が実現すれば、それほど過不足は生じないのではないか。

協議題3 学校に備えつけの教材教具について

研究部より別紙3の内容について提案。

・「私費負担教材について既に調査し資料化されているので、再度の調査は必要ないのでは・・・」

→キット教材を丸ごと公費化するというだけでなく、算数セットの中でも使わない道具があるので、使うものだけ公費で購入する、そういう工夫が他の私費教材でも考えられないかという視点である。

・「英語の辞書の学校備え付けや修学旅行で、地元のガイドをお願いすることで経費を抑える工夫」というイメージでよいか？」

→その通りと考える。朝顔セットについても、種を地域住民に提供してもらい、桶のみ購入する方法、絵の具セットのパレットは卒業生に寄付してもらい、鍵盤ハーモニカの吹き口のみ私費負担にする、技術科栽培の苗を農協に寄付してもらい地産地消のPRとする、などいくつかのアイデアが出された。

・まずは研究部において小学校・中学校の種別を問わず「アイデア募集」を行う。出てきた「アイデア」を、冬季研において交流を行う。今後、状況を見ながら教員アンケート行うかなど考慮していく。

<連絡事項>

連携事務局より議案のとおり連絡事項の報告